

日本オリエント学会第 63 回年次大会プログラム

2021 年 10 月 30 日（土）、31 日（日）

オンライン開催（大東文化大学）

第 1 日 10 月 30 日（土） 14：00～17：30

公開シンポジウム・学会奨励賞授賞式

14：00～ 開場

14：15～ 開会挨拶（日本オリエント学会第 63 回年次大会実行委員長 高野太輔）

開催校挨拶（大東文化大学学長 内藤二郎）

14：30～ 公開シンポジウム「イスラーム初期史をどのように描くか」

・趣旨説明 橋爪烈（千葉科学大学危機管理学部・講師）

・横内吾郎（京都大学大学院文学研究科附属文化遺産学・人文知連携センター（羽田記念館）・教務補佐員）

「史料論：いかにしてイスラーム初期史を構築するか」

・亀谷学（弘前大学人文社会科学科・准教授）

「ムハンマド：歴史学的研究は何をもたらしたか」

・橋爪烈（千葉科学大学危機管理学部・講師）

「正統カリフ：スンナ派イスラーム教徒の歴史観」

・清水和裕（九州大学人文科学研究院・教授）

「イスラーム帝国：保護/隷属の回路と「イスラーム」帝国」

16：00～ パネルディスカッション

・コメンテーター：後藤絵美（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所・助教）

・総合司会：吉村武典（大東文化大学国際関係学部・講師）

16：40～ 閉会の挨拶（日本オリエント学会会長 近藤二郎）

17：00～ 第 43 回オリエント学会奨励賞授賞式

第2日 10月31日(日) 10:00~18:00

研究発表

- 発表要旨を10月25日(月)頃に学会HP上にアップロードします。
- 研究発表：個人(それぞれの発表は20分、質疑応答は5分をお願いいたします)
- 研究発表：企画セッション(それぞれの企画セッションごとにタイムスケジュールが異なりますので、プログラムをご確認下さい)

第1部会

	時間	発表者	タイトル
1	10:00~10:25	三木健裕	紀元前5千年紀、ザグロス山脈南麓における彩文土器ネットワーク
2	10:30~10:55	門脇誠二、池谷和信、近藤康久	南ヨルダン、カルハ山の旧石器遺跡群近郊の水場に関する民族誌調査と地形解析
3	11:05~11:30	堀岡晴美	ニップル・イナナ神殿VII層奉納碑文とファラ文書に共通する人名
4	11:35~12:00	川上直彦	ウル第3王朝時代のシュメール北中部地域におけるティグリス川古代流路の復元—GIS分析による一考察—
昼食休憩			
5	13:00~15:30	Chairperson: Ada Taggar Cohen 13:00~13:30 Keiko Tazawa 13:30~14:00 Koichiro Wada Chairperson: Keiko Tazawa 14:05~14:35 Fumi Karahashi 14:35~15:05 Ada Taggar Cohen 15:10~15:30 Chairperson: Fumi Karahashi	企画セッション1 Women and Ritual in Cult and Law of the Ancient Near East (Each presentation 30 minutes (including 5 minutes Q&A)) Presentation 1 & 2 1. Re-examination of the Donation Stele for Ahmose-Nefertari as a God's Wife of Amun 2. Religious roles of God's wife of Amun in Ancient Egypt Presentation 3 & 4 3. The NIN-dingir Priestess and Her Personnel in the Girsu E2-MI2 Archive 4. The Hittite Case of Royal Women in the Cult: The Queen and the NIN.DINGIR (CTH 714//CTH 738) Discussion (conducted in English and Japanese - the audience can choose the language)

第2部会

	時間	発表者	タイトル
1	10:00～10:25	長尾琢磨	パレスチナ自治区における第二神殿時代末期の埋葬の様相：考古学的踏査と分布調査に基づいて
2	10:30～10:55	津村眞輝子、堀内晶子、宮内信雄、吉田邦夫、宮田佳樹	北シリア出土ビザンツ時代の土製ランプ—燃焼実験と脂質分析からの考察—
3	11:05～11:30	田辺理	新出エフタル銀器について
4	11:35～12:00	内記理	『大唐西域記』記載のタクシャシラの仏塔についての再検討
昼食休憩			
5	13:00～18:00		企画セッション2 アッシリアにおける中心と周縁の関係性：楔形文字学、考古学、図像学から
	13:00～13:05	西山伸一	趣旨説明
		司会：西山伸一	第1部：「中央」の建設
	13:05～13:25	山田重郎	都市プランとイデオロギー：ドウル・シャルキンの四角形都市プランの考察
	13:25～13:45	柴田大輔	新都カルフにおける神殿祭儀の創設
	13:45～14:05	渡辺千香子	アッシリアの宮殿と石材
	14:05～14:15		質疑応答
		司会：柴田大輔	第2部：考古学からみた「中央」と「周縁」
	14:15～14:35	沼本宏俊	シリア、テル・タバム出土、中期アッシリアの巨大地下式煉瓦墓
	14:35～14:55	西山伸一	アッシリア東部辺境のエリート層埋葬と中央部の関係：ヤシン・テペの事例を中心に
	14:55～15:15	小野塚拓造	鉄器時代 IIB 期の北イスラエルの物質文化：外来的要素とその背景
	15:15～15:25		質疑応答
		司会：柴田大輔	第3部：中央における「周縁」の吸収
	15:30～15:50	伊藤早苗	アッシリア王室書簡における使者
	15:50～16:10	前島礼子	「周縁」としてのバビロニア：文書蒐集事業を例に
	16:10～16:30	菊地咲	アッシリアにおける外国人の法的活動
	16:30～16:50	佐野克司	アッシリアにおけるエリート外国人の宮廷教育
	16:50～17:00		質疑応答
	17:05～18:00	津本英利	コメント
		長谷川修一	
		司会：山田重郎	総合討論

第3部会

	時間	発表者	タイトル
1	10:00～10:25	森島邦博、久野光 慧、眞部祐太、 北川暢子、西尾 晃、ScanPyramids プロジェクト	ScanPyramids プロジェクトにおけるクフ王ピラミッドの 切妻構造背後を対象とした宇宙線イメージングについて の報告
2	10:30～10:55	河江肖剰	クフ王の時代に考案されたピラミッドにおける切妻構造 に関する考察
3	11:05～11:30	竹野内恵太	供物儀礼における媒体間の関係構造—エジプト古王国時 代の石製モデル容器と供物リストの対応関係—
4	11:35～12:00	畑守泰子	墓壁画からみた古王国時代の家族と女性像
昼食休憩			
5	13:00～13:25	矢澤健	幾何学的形態測定学から見たエジプト中王国時代末期の 土器形状の地域性とその変化
6	13:30～13:55	山崎世理愛	エジプト中王国時代以降における装身具を捧げる儀礼の 伝統と再解釈
7	14:05～14:30	肥後時尚	古代エジプトの「死者の書」における「否定告白」につ いての一考察
8	14:35～15:00	鈴木慎也	マーラゴムワ貯水池から見た古代スリランカ貯水灌漑シ ステムの崩壊原因についての一考察
9	15:05～15:30	下山繁昭	高句麗と日本をつなぐ 滅人

第4部会

	時間	発表者	タイトル
1	10:00～10:25	早矢仕悠太	死地蘇生と村落共有地の運用をめぐる9世紀半ばマリーク派法学の学説比較—Ibn Abī Zayd al-Qayrawānī 『Kitāb al-Nawādir wa-l-ziyādāt』 を素材として—
2	10:30～10:55	森山央朗	シャーフィイー法学派「ハディースの徒」とハンバル法学派「ハディースの徒」：ハディースをめぐる11世紀の論争
3	11:05～11:30	矢口直英	『医学典範』注釈における哲学的問題
4	11:35～12:00	法貴遊	イブン・スィーナの論理学における全称命題について
昼食休憩			
5	13:00～13:25	山本孟	ヒッタイト文書における「魂」とその移動のイメージ
6	13:30～13:55	青木健	アーザル・カイヴァーン学派の起源
7	14:05～14:30	成地草太	イギリスからオスマン帝国への難民支援：1864年のチェルケス人支援委員会による募金活動と義捐金寄付
8	14:35～15:00	石川博樹	イタリアにおけるエチオピア人種・民族論の展開

第5部会

	時間	発表者	タイトル
1	10:00～10:25	宮川創	古ヌビア語の母音音素体系と声調の再建：現代ヌビア諸語を手がかりとして
2	10:30～10:55	五十嵐小優粒	ペルシア語における無対自動詞と無対他動詞に対応する使役動詞
3	11:05～11:30	村上武則	クルド語ソーラーニー方言における「ペシュメルガ」型の不定名詞表現の研究
4	11:35～12:00	榮谷温子	アラビア語文法における一般化と限定や種との関係
昼食休憩			
5	13:00～13:25	徳永里砂	初期イスラーム時代の碑文に見られる「プロト・ハムザ」について—サウジアラビア北西部ワーディー・アルヒルカの新資料の考察を中心に—
6	13:30～13:55	竹田敏之	アラブ詩における韻律学（アルード）の形成と展開：ハリール学派による15律式説を中心に
7	14:05～14:30	佐藤潤	北西セム諸語におけるQTL形動詞の文法化：歴史言語学理論に基づく状態動詞から動態動詞への発展
8	14:35～15:00	へバッター・オマル	エジプトにおける女子割礼をめぐるグローバル・ディスコースと現地の現実—日本とエジプトにおける変化の見通し—